

秋葉就一の県政レポート No.26

八千代市大和田新田312-9-201

<http://shuichi.akiba.coocon.jp/>

TEL 047-489-5406 (fax5407)

電子メール: akibasanka@yahoo.co.jp

予算委でオーガニック給食、自然保育推進提言

★第25回 秋葉就一の県政報告&対話会★

- ・日時：3月19日（日）午後1時～2時45分（受付 12:45～）
 - ・会場：総合生涯学習プラザ第1研修室（萱田南小脇）、参加費無料（八千代中央駅から西に徒歩5分）、ZOOM開催も併用
- ※事前予約推奨。会場参加は20人まで、ZOOMも20人まで。
ご参加予約は電話・FAX・メールで。ZOOMは要メール申込



2023.2.28の予算委員会で質疑中の秋葉就一

住み続けたいと思える千葉県に（八千代市から）

児相問題は定員増だけで解決できる？

2/28開催の予算委員会で秋葉は児童相談所問題（以下、要約掲載）を冒頭で質疑した。

【秋葉】2021年度の県全体及び県の各児童相談所での一時保護の1人あたり平均日数は。

【児童家庭課】県の児童相談所全体の1人あたり平均一時保護日数は75.5日。児相別では中央児童相談所88.5日。以下表の通り。

県平均	中央	市川	柏	銚子	東上総	君津
75.5	88.5	68.2	55.8	96	92.7	92.9

【秋葉】八千代市が含まれている中央は、2019年度から2020年度にかけて大幅に定員を増やしたのに、48日から62日へと長期化。県全体でも、定員を1.5倍にしたのに、7日増の67.6日。それが2021年度には8日増の75.5日。児童福祉法33条で「2ヶ月まで」とされている一時保護の平均が76日では問題。子どもの教育を受ける権利などが侵害される。全国ワーストの平均保護日数を短縮するためには、定員増以外の改革をする必要がある。

児童福祉司の採用不足問題

【秋葉】2023年度採用の目標数55名に対して、主に児童相談所に配置される児童福祉司の合格者数が9名（後に1名辞退）と大幅に不足する事態。名古屋市で臨時の採用試験を1月に行うも奏功せず、悲惨な状況。

この事態を受け、県は児童福祉司等の受験者数増のため、広報業務強化事業5百万円を新規計上したが、それで十分か。一定年数以上の県内勤務で返還が免除になる修学資金貸付制度は検討したのか。（裏面も予算委質疑）

【児童家庭課】4月に「人材育成確保対策室」を新設し、職員募集サイトを立ち上げる他、就職フェアや大学就職説明会にも積極的に参加する。これらの効果を確認しながら引き続き効果的な取組を検討していく。



←2019年7月に、旧中央児童相談所を視察。後に、新も視察。